

選 定 理 由

採択地区名【尾張東部】

種 目 名	数学	採択替えの有無	有 ・
発 行 者 名	啓林館	従来の発行者名	啓林館

1 学習指導要領との関連

- 「話しあおう」や「説明しよう」など数学的活動を通して、多様な考えに触れたり、筋道を立てて説明したりする場が設定されており、表現力を身に付けながら深い学びへつなげられるように編集されている。
- 学習内容を活用して、生活場面の課題を解決できるように問題が提示され、数学を学ぶ意義や数学の有用性を実感できるよう編集されている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- 自分で学習内容をまとめたり、友達と話し合ったりする活動が多く取り入れられており、主体的に理解を深め、自己を高められるよう工夫されている。
- 実生活に直結した「利用場面」が随所に設定されており、その問題解決を図ることで、学習内容を社会生活に生かそうとする意欲化が図られている。

3 内容

(1) 内容の選択

- ・ 身のまわりの場面から数学の問題を発見し、言語活動を含めた数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を手がかりに問題解決が進められ、主体的に学習に取り組めるようになっている。
- ・ キャリア教育やプログラミング的思考の育成など、今日的な課題も盛り込まれており、時代に合わせた内容で数学の力を育むことができるよう工夫されている。

(2) 内容の程度

- ・ 「例」や「例題」で考え方を丁寧に取り上げ、その後、類題を解かせることで、基礎・基本的な内容を確実に理解させられるように提示されている。
- ・ 適度な量の練習問題が用意され、反復練習による基礎基本の定着が図られている。さらに、補充問題から発展問題まで、幅広い難易度の問題に取り組み、習熟度別学習にも対応している。

(3) 内容の構成

- ・ 既習事項の確認、導入場面での課題発見、追究へと問題解決を図りながら学習内容に迫り、そして例題や問題を解かせることで、段階的に習得できるよう構成されている。
- ・ 「みんなで学ぼう」と「自分から学ぼう」の2部構成となっており、必要に応じて学習スタイルを変えて学ばせることができる。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) 学習で使用する「数学的な見方・考え方」が一定の場所に常に記されており、繰り返し目にすることで、見方・考え方を意識できるよう工夫されている。
- (2) 用語は太字で強調され、手書きの囲み枠も親しみやすさを感じさせる。
- (3) 作図の動きや統計ツール、解説などをQRコードで読み取って視聴することができ、理解の助けとなるよう配慮されている。
- (4) 「みんなで学ぼう」ではインデックスをつけ、「自分から学ぼう」では縁に色づけをすることで、学習内容をいつでも検索して振り返り、確認しやすくなっている。
- (5) 配色や書体、意味改行など、ユニバーサルデザインによって誰もが学習しやすいように配慮されている。

5 印刷・造本等

- (1) 全体的に自然な色彩で目に優しく、落ち着いて学習を進めることができる。
- (2) 学習内容を見たり、書き込んだりしやすいように、左右いっぱいを開くことができる「あじろ綴じ」形式になっている。
- (3) 表紙が茶色がかっていて汚れが目立ちにくく、造本も堅牢である。